



2023年10月12日

各位

会社名 株式会社 松屋
代表者 代表取締役社長執行役員 古屋 毅彦
(コード番号 8237 東京証券取引所プライム市場)
問合せ先 総務部コーポレートコミュニケーション課
課長 関 泰程
(TEL. 代表 03-3567-1211)

業績予想の修正および繰延税金資産の計上に関するお知らせ

当社は、2023年4月13日に公表いたしました2024年2月期の通期業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

また、下記のとおり繰延税金資産を計上いたしましたので、あわせてお知らせいたします。

記

1. 2024年2月期通期業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

(1) 連結

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	35,500	1,200	1,000	600	11.31
今回発表予想(B)	40,000	1,700	1,700	1,700	32.04
増減額 (B-A)	4,500	500	700	1,100	—
増減率 (%)	12.7	41.7	70.0	183.3	—
(ご参考) 前期通期実績 (2023年2月期)	34,400	347	261	4,383	82.62

(2) 個別

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	28,500	900	500	9.41
今回発表予想(B)	33,000	1,600	1,600	30.12
増減額 (B-A)	4,500	700	1,100	—
増減率 (%)	15.8	77.8	220.0	—
(ご参考) 前期通期実績 (2023年2月期)	27,822	228	3,488	65.66

2. 修正の理由

本日開示の2024年2月期第2四半期（累計）の実績につきましては、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う行動制限の緩和等から、国内のお客様に対する売上高が好調に推移するとともに、訪日外国人の増加による免税売上高の拡大も加わり、百貨店業の売上高は前年を大きく上回って推移いたしました。

このため、第2四半期（累計）の実績および足元の業績動向を踏まえ、2024年2月期の通期業績予想を見直した結果、連結の売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益および個別の売上高、経常利益、当期純利益がそれぞれ前回予想を上回る見通しとなりましたので、業績予想を修正いたします。

3. 繰延税金資産の計上について

百貨店業において、今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性について慎重に検討した結果、繰延税金資産を計上し、法人税等調整額（△は利益）△376百万円（連結・個別）を計上しております。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上